

学園だより



- ハイライト:**
- 高1修学旅行元気に帰ってきました。
 - 今年もWYSHプロジェクトを行っています。
 - 部活動秋の新人戦が行われました。
 - 自転車事故が増えています。

高1 IWATAコース修学旅行（3組のみなさん） 2011/10/28

オーストラリア修学旅行記

学年主任 栗林宏文

オーストラリア修学旅行記	1
学年主任 栗林宏文	2
進路指導部より	3
進路指導主任 三浦準一	3
9~10月 部活動の結果	4
特活主任 野村哲也	5
カウンセリングルームより	6
スクールカウンセラー 江藤行大	6
生徒指導部より	7
指導主任 楠田克彦	7
保健室より	7
養護教諭 野村めぐみ	7
お知らせとお願い	8

26回生は例年と同じ日程で、オーストラリアのプリズベンでホームステイを体験して来ましたが、何となくあわただしく出発し、移動にはかなりの時間がかかりましたが、2日目の朝に無事到着し、その足で向かった高台からプリズベン市内を一望した時に、日本とは違う異国の地にやって来たことをはじめて実感した者が多かったのではないのでしょうか。そして、動物園を見学した後、その日の午後3時頃にホストファミリーと対面しました。はじめは不安そうな表情をした者も多かったようですが、ファミリーの気さくな接し方に少し照れながらあいさつをする姿がとても印象的でした。

期間中の平日は、午後3時頃まで各クラス別々の学校で現地の教師による英語の授業を受けました。その授業は岩田の生徒のための特別メニュー（ごく基本的な英語学習）でしたが、どの生徒も楽しく授業を受けていたようです。ただ、それ以外にバディー（校内生活をする上での世話役とし

て生徒1人につき現地の生徒）が受講する授業にも参加しましたが、こちらの方は少し忍耐が必要だったようです。午前10時頃には日本にはないティータイムというおやつ（お茶）の時間があり、生徒たちはとても楽しんでいました。週末の2日間は終日ファミリーと触れあえる時間で、日本文化との違いをしみじみと感じながら、ゆったりとした時間をファミリーといっしょに過ごしたようでした。

この修学旅行の期間中に体調をくずした者が若干名いましたが、大きな病気や怪我をする者もなく、全体的には元気で、楽しいホームステイができたのではないのでしょうか。でも、ファミリーと涙のお別れをした後、帰りのバスの中で久しぶりにクラスメートと会い、日本語で会話をする何とも言えない安堵の表情が印象的で、クラスメートのありがたさを感じたのではないのでしょうか。

海外への修学旅行の目的のひとつは、日本とは違う文化に触れることでこれまで当



朝5時に集合！



福岡空港に到着



経由地のシンガポールです。



無事オーストラリアに到着！

学園だより

ゴールドコースト 宮川先生撮影

オーストラリアといえ
ばコアラですよ。



ファミリーと初め
の対面です。



みんな
で語学
研修も
受
け
ま
す。



校長先生から修了証書
を頂きました。



クイーンズストリート
モールで買い物です。

(つづき)

たり前だと思っていたことが必ずしもそうではないということに気づかせることにあります。そして、それを考え方や行動に今後どのように表現したり生かしていくかは各自の意識の持ち方で大きく変わってきます。できれば自分にとってプラスの方向で生かしていければいちばんいいことです。会話もままならない中でのホストファミリーとの触れあいは予想以上に大変なことだったと思いますが、とにかく積極的に前向きな気持ちで進んでいけば何とかなるものだという自信はついたと思います。ブリスベンという街はホームステイとして外国人を受け入れる環境にはありますが、ファミリーの間にもずっと現地で生活している人もいて、他の国から移住して来た人もいて、それぞれの文化には違いがあります。自分のホームステイ先の人々がどのよ

うな人だったかは問題でなく、貴重な体験をしたことは確かです。楽しかった体験や戸惑った体験、少しつらかった体験もあったでしょうが、これらすべてを含めての研修であることをしっかり理解していれば、必ずや自分にとってプラスの体験になるはずでです。我々も出発前は少し心配でしたが、修学旅行後の生徒の感想が「積極的になった」とか、「広い視野で物事を考えることができるかもしれない」とか、「英会話をもっと勉強したい」とか、前向きな感想や決意が多かったことで安心しました。これが何よりの大きな土産です。今後は、自分という存在にもっと自信を持ち、今まで以上に自分を信頼し、そして堂々と社会の中で活躍することを目標にがんばってほしいと願っています。

Rush Life 4年2組 牧 宥河

(修学旅行生徒文集より)

10月23日の朝、体育館に集まって時間どおりに点呼があり、バスに乗りました。そして時間どおりに空港へ着き、オーストラリアへ出発しました。今までの日本での生活はこれが当たり前でした。チャイムの音や言われた通りの時間、時計を基準とした規律の通りに動くのが当たり前でした。でもオーストラリアの学校へ行き、ホームステイをしているうちに、だんだんと時計の時間の存在が薄れていくのを実感しました。でもオーストラリアの小学校にチャイムや時計がないわけではありません。規律はあります。しかし、日本にいる時より明らかに時計を見なくなりました。ダラダラと過ごしているわけではなく、自然な形で不自由なく時計の存在を忘れていきました。そうすると何となく自由に動けるような気になりました。時間に縛られず、学校の子供たちと楽しく授業を受けていました。ホームステイ先の家では、日本では全く違う生活を体験できました。学校が終われば夕食まで自由な時間があり、何をしなければいけないという義務感から解放されました。休日にはゴールドコーストへ行ったり、ショッピングをしたりして過ごしました。特に印象深かったのは最終日のショッピング後のことです。その日は僕を含めた同級生4人で近くの大きなショッピングモールへ行き、買い物を終えた僕らはすることもなく、マクドナルドでただ話を

していました。その時はちょうど夕方、窓際にある僕らの席は夕日が差し込んでいました。何も考えずにただ話をして過ごす夕方。普段の僕らの生活からは想像もつかない事でした。日本では学校でも家でも勉強の話をされ、自由な時間を見つけてもそれは、勉強の息抜き、あるいは勉強をさぼっている時間という価値しかありません。自由時間でさえ、勉強という見えない力によってプレッシャーを受けているのです。でもその時過ごした時間は違いました。僕らを抑えつけるプレッシャーも、その時間の意味も全くない時間でした。普段から時計の時間やプレッシャーに急がされ、どうにかして有意義な時間を過ごそうとするいつもの僕らではありませんでした。ただゆっくりと、マイペースに進む時間が流れていました。陽光の差すその席だけは、唯一時間が止まって、僕らは学校での様々な義務、責任、あるいは世界の全てから切り離された特別な空間となっていました。日本に帰ってからはあのときの時間も空間も見つけることはできません。有意義に生きようとするのもいいかもしれないけどあの神秘的とも言える不思議な世界は、今の僕たちには必要です。何かに急がされた人生よりも、ゆっくりと流れる。世界から切り離された別世界 — Slow Life をマイペースに生きることを学んだ修学旅行でした。



夏の对外模試成績概評

進路指導主任 三浦準一

遅くなりましたが、7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果をご報告いたします。

まず初めて進研模試を受けた中3ですが、難関大学であるSゾーンには、ここ5年間の平均では学年のおよそ7%の生徒が位置してきましたが、今回27回生では5%でした。また、国立大学のおおよその下限であるB2以上では5年間の平均は67%ですが、27回生は60%でした。これらのことから現状では、超トップ層が少なく、下位層が少し多いことがわかります。ご存知のように本校の中3は、高1と同じ模試を1年早く前倒しして受験しています。例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、一年間で平均して1～2ほどゾーンのランクが上がりますので、高1の段階では、全員がB2以上の成績に達し、その中でもSランクの成績を残せる生徒が増加するように今後の取組に期待したいと思います。

続いて高1ですが、中3の1月の結果と比べると、Sゾーンの割合が5%から18%～3倍以上増え、国立大学のおおよその下限であるB2以上では64%から80%と増加しています。中3次と比べて順調に学力を伸ばしてきていますが、ここ5年間の成績と比べるとまだまだです。高1は、これから生徒会活動などでも学校の中心となる立場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚をもって、さらに学力を向上させてくれるものと期待しています。

続いて高2ですが、高1の1月の結果と比べると、Sゾーンの割合が21%から8%へと激減し、B2以上でも92%から74%へと減少しています。ここ5年間の平均と比べても、Sゾーンの割合が低い結果となりました。高2の前半は体育祭や学園祭で中心的役割を担うため、夏季に実施される模試の成績が下がる傾向にあります。今回の結果も同じことが言えるかもしれませんが、第29回学園祭を見事に成功させた25回生ですので、今後は学習面でさらに力を発揮し、成績を伸ばしていってくれるものと思っています。

最後に高3の外部模試の成績概評についてご報告いたします。高2までの24回生の成績は、卒業生たちと比較したときには正直物足りない状況でした。それが高3になって本格的に受験勉強に打ち込み始めると少しずつ結果が伴い始め、10月に受けた模試の学年平均では、ここ5年間の回生と比べても物足りないどころか上位に位置するまでに伸びてきています。これは、例年以上に進路指導室で学習に取り組む生徒の人数が多いなど、学年団の指導のもと、24回生全員でまとまって学習に取り組んできた努力が、このような結果につながっていると思います。

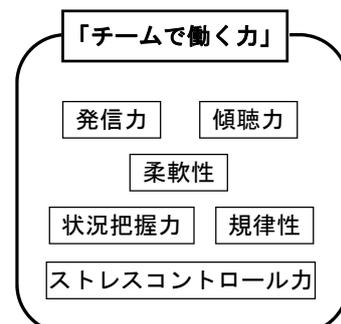
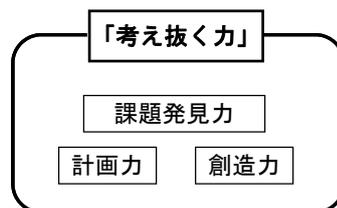
以上、模試などの結果報告でした。12月には、11月上旬に実施されたベネッセの学力推移調査(中1・中2)や総合学力テ

スト(中3～高2)の結果が出ますし、来年1月にも模試が予定されています。模試の個人成績が返却された際には、順位や点数、志望校の判定も気になるでしょうが、分野別の出来不出来に注目し、次回の模試では、今回出来なかった分野で結果を出せるように取り組んでいくことが、これからの学力向上をもたらしてくれる最良の方法の一つだと思います。

○社会人基礎力

「社会人基礎力」とは「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力(12の能力要素)から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。

現在では、数多くの大学で社会人基礎力を育成するプログラムが導入されています。このことは、現在の高校生に社会人基礎力が不足していることを示しているのではないのでしょうか。大学進学や将来の就職のためにも、これらの基礎力を意識的に育成していくことが重要となっていると思います。以下に、3つの能力と12の能力要素についてあげておきますので、参考にしてください。





9～10月部活動の結果報告

特活主任 野村哲也

●高校卓球部

県秋季大会大分支部予選会

男子シングルス

高2 麻生(壮), 時枝, 三股 初戦敗退

●高校野球部

第38回九州地区高等学校軟式野球大会

大分県予選(新人戦)

1回戦(10/1) 岩田 4-2 津久見

準決勝(10/2) 岩田 7-8 東九州龍谷

1回戦は打線が好機にタイムリー、投げでは下川が1安打ピッチングと投打がかみあい創部以来、初めて津久見高校に勝利。準決勝は、ミスなどから流れを引き寄せられず、最終回到2点差を逆転されサヨナラ負け。あとアウト1つで九州大会出場権獲得というところまで行っただけに悔しい敗戦となりました。今大会をもって引退をする高校2年生をはじめ、選手全員が最後までよく頑張りました。(顧問:池辺)

★大分市中体連新人戦

●中学女子バスケット部

岩田 38-47 原川

岩田 42-61 坂ノ市

確実に成長が見られた試合。離されてもくらいつき、勝利まであと一步のところでした。「絶対に勝つ!」という強い気持ちが足りないことが、この“あと一步”という結果。もっともっと成長できるチーム。頑張らせませす。(顧問:野田)

●中学男子バスケット部

岩田 67-70 植田

岩田 49-63 大分西

点差が開いてもチーム全体で声を出し、前向きに臆することなく戦うことができました。内容のある試合で気持ちの入ったプレーが見れ、選手にとっても勝ちよりも大きな貴重な経験ができたように感じます。今後これをいかし、さらにチーム全体で高まっていくことを期待しています。

(顧問:伏見)

●中学女子バレー部

岩田 0-2 豊府

岩田 0-2 附属

岩田 0-2 原川

※0勝3敗 予選リーグ敗退

要所での連続失点で敗北しました。県新人戦・冬季市内大会に向けてまた練習です。(顧問:中川)

●中学野球部

1回戦(10/6) 岩田 2-9 戸次

初回到2点を先制するも、戸次に着実に加点され敗戦。吉野中学との合同チームで臨んだ試合でしたが、多くのことを学び良い経験ができたと思います。今冬での成長を期待します。(顧問:池辺)

●中学卓球部

団体戦 岩田 1-3 城東

岩田 1-3 王子

岩田 1-3 鶴崎

個人戦 池辺(中1) 2回戦進出。

他は、1回戦敗退。

最後まで粘り強く戦ってくれました。次の試合に向けて、各自の課題を設定させて頑張らせたいと思います。(顧問:後藤正)

●中学ソフトテニス部

(男子)

団体戦 岩田 0-3 鶴崎

岩田 1-2 原川

予選リーグ敗退

個人戦

1回戦 木下・高橋 3-2 明野中

2回戦 木下・高橋 2-3 大分西中

(女子)

個人戦

1回戦 山口・生田 3-2 坂ノ市中

2回戦 山口・生田 0-3 大分西中

中2が中心のチームとなり、成長が見られた試合でした。次の試合に向けて、技術面だけでなく、声だしや強気で試合に挑む精神面を練習で鍛えていきたいと思います。(顧問:松永)

●中学硬式テニス部

(男子)

団体戦 1回戦 岩田 2-1 鶴崎

準決勝 岩田 0-2 豊府A

<第3位>

男女個人戦(シングルス)

3回戦進出 本多・衛藤・古屋・岡部・白石・秋満

(女子)

団体戦 1回戦 岩田 1-2 原川

1回戦の鶴崎中学とは岩田の1ポイントUPの状態から始まりましたが、緊張の中健闘し、団体戦で初勝利をあげることができました。準決勝の豊府A戦では、ダブルス1が善戦し6-5まで競り合いましたが、0-2で敗退しました。現在のチームは中1のみのメンバー構成で、中2相手に厳しい部分もありますが、今後各自がすべきことや目標がみえ、第3位という結果以上にそれぞれ手ごたえを感じることができた団体戦となったと思います。テニスのみでなく、学習や生活面でもより成長してくれることを期待しています。(顧問:川元)

●中学男子剣道部

団体戦 岩田 0-1 王子

岩田 0-4 大分

個人戦 全員初戦敗退

技術面も闘志もまだまだ未熟な若いチーム、次戦に向かって頑張ります。

(顧問:阿部)

●中学サッカー部

岩田 0-1 2 南大分

岩田 0-4 坂ノ市

強豪のチームには大差で敗れました。前半より後半、1試合目より2試合目と成長していけるよう練習を積むしかありません。(顧問:河野)

●新体操(個人参加)

山下理紗子(クラブ) 19.166 **3位**

(リボン) 16.491 **4位**

(総合) 35.657 **3位**



●柔道(個人参加)

男子50kg級 安東航星 **3位**

★中学県新人戦

●中学サッカー部

1回戦 岩田 0-1 別府青山

ボールの支配率も高くこちらサイドでのゲーム展開ができていましたが、何度かのチャンスを点につなげることができず、その隙に失点し惜敗しました。しかし、一試合ごとに成長の跡が伺えます。(顧問:河野)

●中学男子バスケット部

1回戦 岩田 36-72 宇佐西部

相手の激しいディフェンスに対しても、全員で積極的なプレーを心がけ奮闘することができました。涙を流して悔しがるメンバーもいて、今後さらなる成長へとつながる良いステップになったと感じます。

(顧問:伏見)

●中学女子バスケット部

1回戦 岩田 27-55 白杵西

随所に好プレーが見られ、最後まで頑張りきりました。試合に向けての準備、雰囲気づくりなど多くのことが学べたと思います。次につなげて欲しいと思います。

(顧問:野田)

●中学女子バレー部

岩田 0-2 国東A

2セット目で見せた気合をほとんど生かせずに終わりました。次に向けて課題を一つ一つクリアしていかなくてはいけないと痛感しました。次回は応援して下さった方々に報いるような結果を残したいと思いません。(顧問:岡邊)

●中学剣道部

団体戦 2回戦 岩田 0-3 佐伯鶴谷

「技より闘志」経験を積みながら育んでほしい。(顧問:阿部)

●中学硬式テニス部

(男子)

団体戦 1回戦 岩田 3-0 豊府B

準々決勝 岩田 0-3 王子A

個人戦 3回戦進出 岡部

2回戦進出 白石・秋満

※1回戦を勝利したもののみ記載

(女子)

団体戦 1回戦 岩田 1-2 南大分B

初戦では緊張した場面もみうけられましたが、途中からしっかりと自分たちのテニスを展開し、団体戦2勝目につなげてくれました。続く準々決勝では、優勝した王子戦でも格上の相手ながら最後まであきらめない姿勢をみせてくれました。一年生のみチームですが、今後も一生懸命プレーする姿勢を持ち続けて、練習に勉強に励んでほしいと思います。(顧問:川元)

●新体操(個人参加)

山下理紗子(クラブ) 17.875 **7位**

(リボン) 18.125 **6位**

(総合) 36.000 **6位**

●柔道(個人参加)

男子50kg級 安東航星 **3位**

●高校男子硬式テニス部

高校新人戦

団体戦 1回戦 岩田 1-3 日田三隈

スコアこそ1-3でしたが、それぞれの試合で接戦を展開し、全力で戦った結果でした。試合に出た7人と応援に回った2人の団体メンバー、そしてスタンドで応援した6人がそれぞれの立場でベストを尽くしてくれました。この大会で引退する高2部員は、ここからしっかりと気持ちを切り替えて、全力で受験に向かってもらいたいと思います。(顧問:川元)

●高校女子硬式テニス部

1回戦 岩田 1-3 楊志館

高校2年生引退前の最後の試合でした。結果は敗戦でしたが、応援も含め、皆一生懸命取り組んでいました。これを今の高1などの後輩につなげていってほしいと思います。高2はこれから受験モードに切り替えて、がんばってほしいと思いま

す。(顧問:坂井)

●高校サッカー部

全国高等学校サッカー選手権大会大分県大会

1回戦 岩田 1-2 羽室台

筋力とスタミナといったフィジカル的なところでは難しい試合となりましたが、意識を高めて課題としていたパスをつなごうとすることで久々の得点をとることができました。日頃の基礎練習の成果もできはじめたのかもしれませんが。(顧問:河野)

●高校陸上部

九州高校新人陸上

【男子三段跳】5年1組姫野衛

決勝進出は成りませんでした。予選の記録は良いリズムで安定した結果であったと思います。これから冬場更に基礎練習を積み重ね、春の大会で記録を伸ばせるよう取り組んで行きたいです。今年もいろいろな大会に出場しましたが、ケガ・故障も無く今年の大会を終えることができ感謝しています。(顧問:上久保)

●高校女子バレー部

春高バレー予選

岩田 0-2 大分東明

練習したことを100%出すためにどうするか。次の試合に向けてあと1ヶ月頑張らせます。(顧問:中川)

●高校剣道部

高校県新人戦

団体戦 岩田 2-3 中津東

個人戦 1年 神崎雄己 2回戦敗退

男子団体は7人制でしたが5名のみ出場で厳しいものがありました。ハイレベルな試合に身をもって経験したものを繋げてほしいと思います。(顧問:阿部)

●高校将棋部

第19回大分県高等学校将棋新人大会

(男子)

個人戦 鳴海翔介 **7位**



カウンセリングルームより

こんにちは、みなさん、お元気ですか？。スクールカウンセラーの江藤です。11月を過ぎてもしばらく暖かかった季節が、ここ数日のうちにようやく急ぎ足で曆に追いついたような寒い風が吹くようになってきました。ぼくのカウンセリングルームにやってくる生徒も口々に「寒い、サムイ、さむい」と飛び込んできて、お隣の保健室にも大きなマスクをしてくしゃみをしながら訪ねていく生徒の方も増えてきたように感じます。みなさん、風邪などはひかれていませんか？どうぞお体には気をつけてくださいね。

勉強とゲーム。

先日、ある男の子がカウンセリングルームに少し暗い顔をしてやってきました。

「勉強をしなくちゃいけないとは思ってるんだけど、全然やる気が起こらないんです。」

「気分転換にゲームをすると楽しくてなかなかやめられずにいつもお母さんに怒られる。」そう言って、相談室のソファに座って頭を下げてしょんぼりしていました。

そんな話を聞いて、その男の子の悩みやつらさを一緒に感じながら、ぼくは同時にきっとこの男の子はゲームと同じくらい今はそうは思えないかもしれない勉強もきっとたくさん好きになるんだろうなと感じていました。

みなさんの多くがいつの間にか夢中でしてしまうPSPやWii、DSといったゲーム。

それは確かに大人になったぼくでも一旦やり始めると思わず夢中になってしまうほど楽しいものです。

それはそのはず、これらのゲームは、皆さんの手に届くまでにたくさん人たちが、またたくさんのお金と時間をかけて、『すこしでもたのしいものを！』『みんなが我を忘れるほど熱中してしまうものを作るぞ！』と全精力を傾けて作られるからこそ、みなさんも『欲しい！』『楽しい！』と思うわけです。またそうでないなら商業的なゲームとしては価値のないものともい

スクールカウンセラー 江藤行大

えます。

それに対して、みなさんが“勉強”として取り組んでいる、英語、数学、国語、理科、社会などなどは、一見とつきにくくて『勉強』という単語が持つ厳しいイメージがより“つらいこと”“面倒くさいもの”としてみなさんに印象付けられるのかもしれない。

ただもしかしたら本当はこれらの中にはゲームよりもはるかに面白くてワクワクするものがどこまでもその向こう側に潜んでいるのかもしれないとぼくは思うのです。

最近ぼくは空を見上げることが多くなりました。

今の寒くなり始めた冬の晴れた空はどこまでも青く澄んでいて、太陽が沈んでいって日が暮れると冬の星座がキラキラと輝いています。それは不思議と夏や春の空とも違ってより一層きれいに見えるものです。その理由はなんだろう。ぼくはずっと子供の頃に考えていました。だけどその答えはなかなか子供のぼくは見つけられなくて、もやもやした気持ちの中にいた時、学校の理科の授業の中でそれを理解するヒントを見つけてドキドキしたのを今でもとても覚えています。

それは、飽和水蒸気のこと。季節が冬に変わって大気の気温が下がると、湿度が下がっていきます。そうすると空気中の水分が少ないだけ屈折率が低下して視界をさえぎるものが少なくなって、そしてこの季節に吹く偏西風が空に漂う塵やごみを吹き飛ばしていっそう見通しが利くということを知ったのです。そして同時に机の上の勉強が、実はぼくの周りにいつもあるものと繋がっているんだということに初めて気がついたのです。

学校でみなさんが一生懸命勉強している勉強の科目はそれぞれが独立していて、お互いに見えぬ関係のないもののように感じます。

ただ本当はその全てが実はぼくたちの

住むこの地球のこと、そしてぼくたち人間のことを理解するためのものです。地球とそこに住む人間のことを理解していくこと。それを誰かに伝えたいとおもうこと。そのための方法は、きっと無限にあって、ただでもその中でも今みなさんが学校や家で取り組んでいる勉強は、人間が長い時間を使って見つけてきたその中心にあるアプローチです。つまりは英語も数学も理科も社会も一番その中心にあるのは人間を理解することなのです。

地球はとても広くてまだぼくたち人間が知らないことに溢れています。

そしてぼくたち人間は同時に本来常に新しい何かを求めてそれに惹きつけられていくという知的好奇心という本能を誰もが例外なく持っています。

ぼくたちのドキドキやワクワクを毎日の暮らしの中で、見つけ出して知っていくこと。その自分の手で見つけ出したワクワクは、誰かによって予め提示された楽しさよりもはるかに楽しくて興味深いもののはずです。

いちばん大切なことはどんな中にでも“楽しさ”が隠されていることに気がつくことなのだろうと思います。そしてきっと本当に優れているということはその“楽しさ”を自分の目と耳とその他の全ての感覚を通して自分で見つけ出すことができるということなのだと思います。

ただでも時にはそのことがわからなくなったり、気がつきにくくなってしまうことだってあります。もしもいつかみなさんが毎日の生活の中で何かに迷ったり、楽しいことを見つけれなくなったときはいつでもカウンセリングルームを訪ねてください。

いろんなお話をしながら一緒にみなさんの回りに本当は溢れている楽しいものを探していきましょう。

毎週水曜日の午前9時から午後6時まで。みなさんがカウンセリングルームに遊びに来られるのを待っています。



生徒指導部より

最近、ニュースで自転車の乗り方や事故についての報道が多いようですが、本校の生徒も自転車同士、自転車と自動車の接触事故が数件起こっております。全校朝礼でも指導しておりますが、ご家庭でも自転車の乗り方の確認、事故に遭わないようにするにはどうすればいいか、車から見た自転車について、自転車盗難に遭わないようにするためにはなどお子様と再度確認お願いいたします。また、以下に本校の自転車通学許可に関する規則を掲載します。

自転車通学の許可について

- ①学校より1km以内の者には自転車通学を許可しない。
- ②交通規則を守る
 - 守らない場合、道路交通法・道路交通法施行令・大分県道路交通法施行細則などによって処罰の対象となります。
 - ・信号無視をしない。
(3ヶ月以下の懲役)
 - ・左側通行をする。
 - ・二人乗りをしない。
(2万円以下の罰金)
 - ・並進通行をしない・
(2万円以下の罰金)
 - ・夜間の無灯火運転をしない・

生徒指導主任 楠田克彦

- (5万円以下の罰金)
- ・傘差し運転をしない。
- (5万円以下の罰金)。
- ・スピードを出しすぎない。
- ・点字ブロックの上に駐輪しない。
- ・一時停止違反をしない。
(踏切での一時停止違反の場合は3ヶ月以下の懲役)。
- ・携帯電話の使用・操作の禁止。
(5万円以下の罰金)
- ・ヘッドホンでの音楽等聴取の禁止。
(5万円以下の罰金)
- ③自転車整備をおこなう
 - ・防犯登録をする。
 - ・ライトがつくようにする。
 - ・ブレーキが効くようにする。
 - ・ステッカーは、後部泥よけの一番下に貼る(泥よけの無い自転車は許可しない)。
- ④指定された自転車置き場に駐輪し、施錠する。
- ⑤許可された自転車を変更する場合は、ただちに自転車許可を再申請すること。(自転車通学許可は、生徒および自転車に出される許可である)。
- ⑥職員自動車出口からの自転車の出入りを禁じる(正門より出入りすること)。
※ステッカーが貼られていない自転車は

盗難車とみなし、警察に照会するために施錠し、保管します。

※自転車点検を、1, 2学期の中間考査前後に実施する予定です。

自転車を購入するにあたって

- ・泥よけのあるものを購入する。
- ・荷台のあるものを購入する。ハンドルのカゴに重い荷物をのせると、ハンドルが重くなり、危険です。
- ・TSマーク 自転車安全整備店で、点検・整備を受けて貼ってもらったTSマークには、賠償責任保険と傷害保険がセットになっているので、もしもの時に安心です。(1年間有効)

事故にあつたとき

- I. その場で次のことを確認する。
 - ・相手の名前や連絡先
 - ・車のナンバー
 - ・車種や色
 - ・事故をおこした時は、誠実に対応する。
 - II. 学校についたら、担任の先生と、自転車係の先生に連絡する
- ◎以上の規則などが遵守できない場合は許可を取り消します。

ほけんしつから

風邪・インフルエンザが流行する時期になりました。岩田学園保健室では11月に入り、風邪症状のお子さんが多数来室しています。手洗い・うがいの励行、マスクの着用、十分な睡眠・栄養などで風邪・インフルエンザの予防を心掛けてください。

また、最近「マスクをください。」と来室するお子さんが多数みられます。各ご家庭でのマスクの準備をお願い致します。



今年度もWYSHプロジェクト

(性教育)を実施しています!!

昨年度から実施していますWYSHプ

養護教諭 野村めぐみ

プロジェクトを今年度も実施しました。11/17(木)~11/18(金)の2日間、「わたしを好きになるために・・・あなたを好きであるために・・・。」というテーマで5年生対象の授業が行われました。授業担当者は英語科の小池良子先生。性感染症・中絶のことについて学んだ後、どうしたら性感染症・望まない妊娠を防ぐことができるかをグループワークで話し合い発表、最後に英語でThank you letter を書くという内容の授業でした。25回生の皆さんが真剣に授業を聞き、話し合っていた姿にとっても感動しました。授業後の感想では「女子の素直な意見が聞けてよかった。」「性感染症絶対になりたくない!」「お互いの気持ちを大切にしないといけないと思った。」など前向きな感想が多く「楽しかった。」との

声が多く聞かれました。今後、25回生の皆さんが自分や周囲の人を大切に過ごしていけることを心から祈っています。

子宮頸ガン予防ワクチンについて

昨年度、学校での接種をご案内させて頂いた後、2年生・3年生の希望者のご家庭には長くお待ち頂き申し訳ありません。現在5年生・4年生の2回目接種まで終了しています。12月に5年生の3回目、3月に4年生の3回目を実施する予定です。

2年生・3年生の実施は3学期を予定していますので、もうしばらくお待ちください。

長かった2学期も残り後わずかです。…ということは期末テストが近づいてきました。急に冷え込みはじめたので生徒の皆さん、体調管理を心がけ試験勉強がんばって下さい。

第83回あしなが育英募金活動。本校から多数の参加。



10月31日(日)、岩田生58名は大分豊府高校など他校生とともに、第83回あしなが育英募金活動に参加しました。トキハ前、セントポルタの中程の交差点、セントポルタの入り口、大分駅前に分かれて行きました。今回集まった募金は、全額があしなが育英会に送られ、その内の半額が病気や災害、自死などで親を失った学生の奨学金として使われ、残りの半額が、東日本大震災で親を失った遺児のための「東北レインボーハウス」の建設・運営費の一部として使用されます。生徒たちは大きな声で募金を呼びかけました。当日はあいにくの雨でしたが、こころよく募金に応じて下さる方が多数おりました。生徒たちは感激し、「また参加したい」という感想の多い、貴重な体験でした。以下は参加した生徒の感想です。

「私は今回を含めて二度だけあしなが募金活動に参加しました。二度だけですがこの募金活動で、募金箱を持ったり、ビラを配ったり、声を出したりするにあたって、いろいろな人々や出来事を目の当たりにしました。例えば、優しくねぎらってくれたり、協力してくれたりする人もいれば、一方では心ない事を言ってきたり、活動

に見向きもしない人だっていました。いろいろな人々を見ていくうちに、私が大切だと思った事があります。それは活動に自ら参加する人々の思いです。

もちろん協力してくれる人々の気持ちは大切です。このような人々なしでは、活動は成り立ちません。でもそれ以上に、ボランティア活動に自ら参加しようと思いつくのは、素晴らしい事だと思います。

私をはじめこの活動に参加したのは、ただ生徒会として参加した方がよいといわれたからでした。だから私もこのようなきっかけが無ければ、今もボランティア活動に関心のない人のうちの一人だったかもしれません。でも今は、会ったこともない誰かのために行動し、助け合おうという思いの大切さを身をもって実感できました。

このような思いを持つ人がもっと増えれば、人々の心もこの社会も、より豊かなものとなるのではないかと考えさせられました。あしなが育英募金に参加することが出来て本当に良かったと思います。」(5年2組 戴晨)



世界エイズデーポスター

11月26日(土)パークプレイス噴水付近にてエイズ予防ポスターが掲示されます。今年度、4・5年生女子の有志数名が

作成に携わってくれました。ありがとうございました。もし、お時間ある方は見に行かれてください。(野村めぐみ)

学園だよりも掲載

ホームページをご覧ください。

<http://www.iwata.ed.jp/>

岩田学園総務部広報課

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校